

改めまして、皆様こんにちは。本日ために体調を整えご参集いただき、本当にありがとうございます。

横浜の桜の開花は3/23、4/2満開の予測です。いよいよ、春到来です。

本日はお忙しい中、NTT 労組神奈川グループ連絡会から宮城事務局長に、また、川崎・横浜地区会員の中央協・副会長上野正敏さんに参加いただきました。大変ありがとうございます。

まずもって、去年のこの場所で、参議院選挙で組織内候補「石橋みちひろ」議員再選へのご理解・ご協力をお願いし、見事当選させていただきました。本当にありがとうございました。

石橋議員には本日お出でいただくよう、グル連の宮城事務局長にぎりぎりまで調整頂きましたがかないませんでした。石橋議員には今日のグズグズの国会状況などへの対応などなどの思いを、おそらく私たち退職者とも気合が合うであろうその一端を、ナマでお聞きしたかったゆえにととても残念です。メッセージをいただいておりますので後程披露させていただきます。

ぜひ、私たちの代弁者として、「知的格闘家」2 期目の本領を発揮・奮闘されるようエールを送るところです。

さて、昨年11月5日の総会から早くも4か月が過ぎました。

会員皆様のご協力のもと、役員会の運営体制、とくに、支部協常駐日の月水金の常駐役員を複数配置し、コミュニケーションがより図れるよう体制強化したところ です。

また、組織拡大については、先月2月におこなわれた(神奈川グループ連絡会主催、県下5か所)退職予定者220人説明会に参加し、これまでのご苦勞をたたえつつ「退職者の会」への加入を勧めてきました。

さらに、各サークルへの登録・活動など、総会でご確認いただいた2016年度のとりくみを進めているところです。引き続きのご協力をお願いいたします。

今日で、あの東日本大震災から、まる6年と7日です。

先週の3/11 国立劇場で行われた政府主催の追悼式がTV中継されました。安倍首相の短い式辞を聞きましたが、最後まで「原発事故」という言葉が聞けませんでした。なんとも腹立たしい限りです。

首相式辞で「原発事故」という言葉を使わなかったのは6回目の追悼式で初めてとのことですが、「オリンピックが近づくと、福島がだんだん遠くなる」

でなく、「原発事故」そのものをなかったことにしたい思惑がありありと見えるようです。

昨日の原発訴訟判決は、津波は予見できたとして国・東電の過失を認めた画期的なものでした。当然、本日の朝刊では各紙一斉に一面トップです。しかし、NHK の午前 7 時のニュースでは全く触れませんでした。聞き洩らしなのか、故意か、NHK に問い合わせたら、5:30 のニュースでは 3 番目に、6:00 では 30 分後に、そして 7 時には触れなかったとのことでした。NHK の露骨な情報操作を実感したところです。

現在、福島県からの避難者は全国で 8 万 3000 人（神奈川 2875 人）。そのうち政府指示の避難区域外避難者（いわゆる自主避難者）は約 2 万 6000 人。この人たちの住宅無償提供の打ち切りが今月末に迫っています。

「原発事故子ども・被災者支援法」は、避難者が路頭に迷うことがないようにする責任は国にある、としているが、国は「福島が打ち切りを決めた」と責任を福島県に押し付けているといわれています。

神奈川県への東日本大震災と原発事故の自主避難者は、2/1 現在被災 3 県（福島・宮城・岩手）から 565 世帯 1329 人（福島県 302 世帯 764 人）となっています。

神奈川県は、福島県が今年度いっぱい打ち切る住宅無償提供の激変緩和措置の補助金を出すことを決定したことにあわせ、東日本大震災と原発事故の自主避難者を対象にした独自の住宅支援策を来年度、1 世帯当たり最大 1 万円を上乗せすることを決めました。

黒岩知事は、「被災者から『支援を打ち切らないで』という悲痛な声を聞き、県独自で一部を支えることを決めた」「厳しい予算の中だが、被災地支援のために、われわれが頑張ろうと最終的に決断した」と話したと報じられました。

神奈川県民としても、久しぶりに少し晴れやかな気がしたところです。

皆様のご家庭に届く、神奈川県の広報『県のたより』3 月号でも、「手を取り合って、福島の復興・創生へ」「福島に行くもよし、福島の食べ物を食べるもよし、1 人ひとりができることから支援を始め、継続しましょう!」と、県民に訴えております。

3/6 に送付した『支部協ニュース』にも触れましたが、

私たち退職者の会神奈川においても、改めて、福島の復旧はこれから、復興はまだまだ遠い現実にあること、を心に留め、NTT 労組と連動した「忘災」のとりくみ（風化させない、忘れない）と被災地・被災者支援に機会を見つけ関わっていただきたいと思います。

と同時に、これら災害を「ひとごと」から「自分ごと」へと「まず自らの命を守る」ために、本日からの各地区交流会では、自分の住んでいる自治体によ

る緊急災害時等の対策を知り、備えをより現実的なものとしたいと思います。

また、「いざという時」の安否確認用連絡先の登録を全会員にお願いすることとしました。是非ご協力お願いいたします。

最後に、この交流会の返信ハガキに、体調がよくなく、本日ここに来たくてもこられないとの多くの方の近況報告がありました。ぜひ、その人たちの分もあわせ、有意義な時間をお過ごしいただきたい、

こと、を申し上げ、挨拶とさせていただきます。